

千葉県立博物館の事業に係る自己評価票(令和4年度事業)

達成度(数値達成度のめやす)		自己評価	総合評価
達成	目標値≥100%	4	A
ほぼ達成	目標値≥80%	3	B
やや不十分	目標値≥50%	2	C
不十分	目標値<50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値≥75%	4
ほぼ達成	達成値≥65%	3
やや不十分	達成値≥50%	2
不十分	達成値<50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考		
			上段:達成値 下段:目標値	値の説明	数値					
I	収蔵資料の整理・保存 有効活用・調査研究	収蔵資料	1	博物館資料の受入等	令和4年度実績		4	A	平成30年9月以降資料の新規受入を停止した。	
			2	資料の情報化・公開実績	令和4年度実績	2,858点			令和3年度から続く休館中に、資料の整理およびデータベースへの登録・公開を実施したため、点数が増加した。	
		収蔵資料の有効活用	3	館外貸出(外部機関等展示等)	令和4年度実績	9件	4	A		
					前年度実績	2件				
			4	館内利用(学術調査等)	令和4年度実績	3件	4			
		5	著作物資料への利用(出版物掲載等)	令和4年度実績	33件	4		テレビ番組等の影響により収蔵資料の画像利用が増加した。		
				前年度実績	18件					
		調査研究	6	調査事業件数	件数	令和4年度実績	2件	2	C	研究員の人数の減少により、調査事業件数も減少したが、収蔵資料の調査は継続して実施した。
					前年度実績	3件				
			7	共同調査事業件数	件数	令和4年度実績				
		8	研究成果の公開状況	論文研究報告	令和4年度実績					
					前年度実績					
大項目 I の総合評価(A~D)							B			
博物館コメント	資料の活用実績が好調なのは、資料の活用は休館による影響を受けにくい上、これまでの活動により当館の資料が周知されてきたため。またテレビ番組等の影響により、当館収蔵資料への関心が高まったため。									

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値 下段:目標値		値の説明	数値				
II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	令和4年度実績	38,530人	2	C	城内へ入場は不可だが、立ち入り可能な外周と研修館の見学人数を計上。
						前年度実績	50,152人			
			2	企画展(事業名)	入館者数	令和4年度実績				
		3	トピックス展等	入館者数	令和4年度実績					
		展示の充実	4	常設展示	更新回数	令和4年度実績				
			5	企画展(事業名)	実施回数	令和4年度実績				
6	トピックス展等	実施回数	令和4年度実績							
総合的な満足度	7	常設展示	アンケート満足度「非常に満足」+「満足」の割合	令和4年度実績						
	8	企画展(事業名)	実施回数	令和4年度実績						
9	トピックス展等	実施回数	令和4年度実績							
大項目IIの総合評価(A~D)							C			
博物館コメント	企画展等の催しは行っておらず、また敷地内を使った観光イベントについても新型コロナの影響で中止としたため見学者が減少した。立ち入り可能エリアでは敷地内の案内や注意事項(時期によって蜂、毛虫等が多く発生するためその注意喚起や、大雨台風後の樹木の枝の落下等の注意)を多く掲示し、観覧者の安全対策を講じた。									
III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	令和4年度実績				
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	令和4年度実績				
大項目IIIの総合評価(A~D)										
博物館コメント	休館中のため該当なし。									
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	令和4年度実績	15回	2	C	
						前年度実績	28回			
			2	HPでの利用状況	アクセス数	令和4年度実績	35,386件			
						前年度実績	49,783件			
			3	報道機関への情報発信	取材件数	令和4年度実績				
大項目IVの総合評価(A~D)							C			
博物館コメント	休館中のため、昨年度まで実施していた企画展や常設展示入れ替えのお知らせがなくなり、HPのアップ数が減少した。代わりに休館中の状況を分かりやすく伝えられるようにHPを更新し、資料の整理状況等についてSNSを活用した情報発信を行った。									

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考
			上段:達成値 下段:目標値		値の説明	数値			
V	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	令和4年度実績	/	A	
					入館者数	令和4年度実績			/
			2	入館者数	令和4年度実績	/			
					令和4年度実績	/			
			3	生徒・児童	入館者数	令和4年度実績	/		
		令和4年度実績			/				
		4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	令和4年度実績	2校	4		「大多喜高校魅力化コンソーシアム」講座を含む
				前年度実績	2校				
		5	利用者数	令和4年度実績	88人	4			
				前年度実績	70人				
地域関係団体との連携	6	団体数	令和4年度実績	/					
			令和4年度実績	/					
	7	連携・共催(大学、NPO等)	利用回数	令和4年度実績	/				
			令和4年度実績	/					
	8	利用者数	令和4年度実績	/					
令和4年度実績			/						
9	友の会活動	利用人数	令和4年度実績	/					
10	ボランティア活動	活動延人数	令和4年度実績	/					
大項目Vの総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	休館のため学校団体の受け入れ等を行っていない。 博学連携については、引き続き新型コロナの影響による制約はあったが、昨年度通りの事業を実施できた。								
VI	教育・普及活動	来館状況	1	講座	〇〇	参加者数	令和4年度実績	/	/
							令和4年度実績		
		2	体験教室	〇〇	参加者数	令和4年度実績	/		
						令和4年度実績	/		
		総合的な満足度	3	講座	〇〇	満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	令和4年度実績	/	
令和4年度実績	/								
4	体験教室	〇〇	満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	令和4年度実績	/				
				令和4年度実績	/				
5	相談件数(来館、メール、電話等)	利用件数	令和4年度実績	11件	4	A			
前年度実績	10件								
大項目VIの総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	休館のため講座等は実施していない。 メールや電話等による質問や学習相談については例年通り対応した。								

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値
Ⅶ	人材育成と安全管理	実習研修	1	博物館実習	令和4年度実績		A		
			2	教員等の研修	令和4年度実績				
			3	職場体験	令和4年度実績				
			4	インターンシップ	令和4年度実績				
		安全管理	5	研修会の開催	実施回数	令和4年度実績			
			6	防災訓練実施等	実施回数	令和4年度実績			
大項目Ⅶの総合評価(A~D)									
博物館コメント	休館のため実績なし。								
Ⅷ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	令和4年度実績		A		
			2	外国人来館入込	令和4年度実績				
大項目Ⅷの総合評価(A~D)									
博物館コメント	休館のため実績なし。								
Ⅸ	ICTの活用	ICTの活用	1	デジタルミュージアム等のコンテンツの作成・整備	制作数	令和4年度実績	A		
			2	デジタルミュージアム等のコンテンツの利用状況	視聴数	令和4年度実績			
			3	インターネットを活用したオンラインでの講座等の開催	開催回数	令和4年度実績			
			4	デジタル・デバインド解消のための対策	実施回数	令和4年度実績			
大項目Ⅸの総合評価(A~D)									
博物館コメント	少人数館のためICTには人材を割けない。								
Ⅹ	その他	コロナウイルス感染症対策	1	館内消毒の実施等感染対策実施	令和4年度実績	全開館日(365日)	4	A	スタッフのマスク、手袋着用/検温、手洗いの実施/アルコール消毒液の配置/飛沫防止シートの設置/入館者のマスク着用/館内共用部の消毒/ソーシャルディスタンスの掲示/入館人数制限/試着体験の中止
					館設定の目標	全開館日			
大項目Ⅹの総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	見学者・職員の安全確保のため、県の指示並びに日本博物館協会が策定した「新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」に従って感染症対策を実施した。								

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考
			上段:達成値 下段:目標値	値の説明	数値			
総合評価(A~D) [各達成度の平均]								
							B	
総合評価と次年度への対策		<ul style="list-style-type: none"> ●総合評価 通年休館のため展示や教育普及活動は実施できていないが、収蔵資料の情報化・公開を進め、資料の活用件数も好調であった。 ●次年度への対策 引き続き休館のため、館内資料の整理等に特化した活動となる見込みであるが、周辺機関との連携事業や情報発信など可能な限り対外的な活動を実施していきたい。 						